

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤崎 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

成果としては、「運動が好き」という質問項目の肯定的な回答が男子で90%を超えていることが挙げられる。また、「体力・運動能力向上の目標を立てている」という項目で、女子の90%以上が肯定的な回答をしていた。

課題としては、「平日の視聴時間が5時間以上」の項目で男女とも35%を超えており、全国に比べ長いことが挙げられる。また、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」の一週間の総運動時間が北九州市の結果に比べて、約100時間少ないという結果も課題である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

「運動が好き」ということに対する取組として、全ての子どもが運動を楽しめるように、運動が苦手な児童を意識した簡単な活動から始めたり、出来具合に応じて活動の段階を分けたりしている。また、「体力・運動能力向上の目標を立てている」ことに対する取組として、目標設定の場を授業前に設けるようにしている。そのため、授業での活動に対する意欲向上に繋がると考える。これらについては、今後も学校全体で続けていきたい。

「平日の視聴時間」が長いことに対する取組として、養護教諭と協力して、保健の学習で、長時間の視聴が体に及ぼす影響を児童と一緒に考えていきたい。また、児童への呼びかけや、視聴時間やルールを児童と一緒に考え、使用していくことの大切さを指導していきたい。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」の一週間の総運動時間が少ないことに対する取組として、朝の会の時間や体育の学習の導入として、5分程度の短時間で、簡易的な運動（動き）を取り入れたり、休み時間に児童と一緒に教師も運動場で遊んだりすることで、児童に運動習慣をつけていくを考えている。

また、家庭での取組として、休みの日に子どもと外で遊んだり、自宅でラジオ体操をしたりするなどを啓発し、家庭でも運動と一緒に取り組んでいけるように働きかけていく。